

アドバンスド

Microsoftテクノロジーを
めぐる冒険

Windows プログラミング

新連載

Visual Basic 2005の新機能

こだか かおる

KODAKA, Kaoru

Level

1 2 3 4 5

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access 2002
- ASP.NET
- Other:

Visual Studio 2005 ベータ 1

Samples

ごあいさつ

この連載記事は、.NET Framework 2.0とVisual Studio 2005の新機能を中心に紹介していきます。今回は、Visual Basic 2005 (図1) の新機能を取り上げます。

Visual Basicは、他の開発言語に比べると、割と簡単で、初心者向けだと思われているかもしれませんが、以前のVisual Basicではそういう面もありましたが、今となっては大きな間違いだといえるでしょう。Visual Basic .NET 2002および2003では、他の言語と遜色のない言語仕様を持つ、最新の開発言語へと生まれ変わっています。

ただし、それがあまりにも劇的な変化であったため、スムーズに移行できなかった人たちがいるのも事実です。Visual Basic 2005では、それらの反省を踏まえ、「お気楽プログラミングもできる」ように、再度生まれ変わったと言えるでしょう。

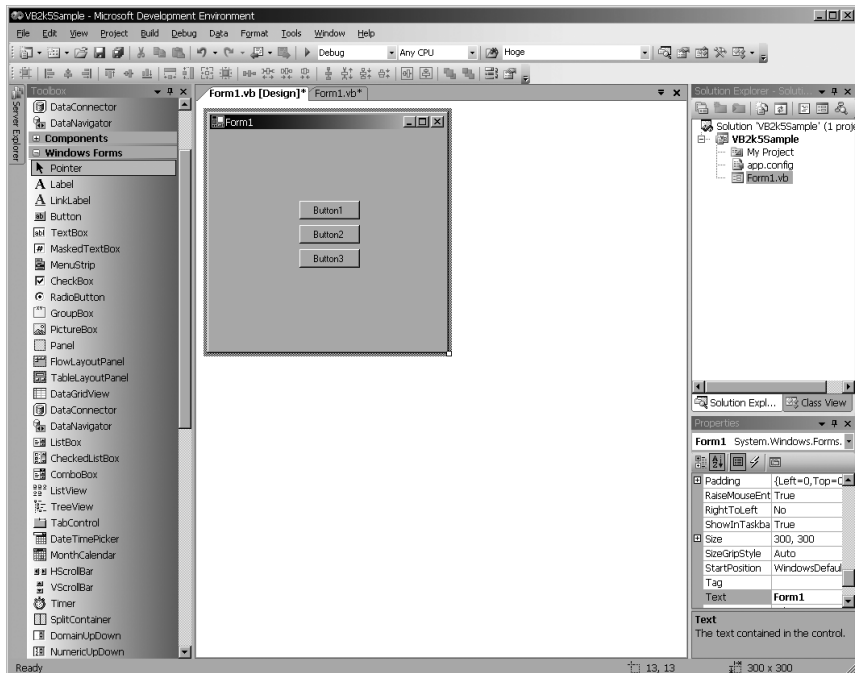
Visual Basic 2005 の新機能～言語仕様編

Visual Basic 2005には、とても多くの新機能が盛り込まれています。他の言語、たとえばC#に比べると、その数は数倍以上です。新機能の中には、.NET Frameworkの進化に合わせたもの、IDEの進化に合わせたもの、過去のバージョンとの互換性を踏まえたものなど、いくつかの種類があります。しかし、それらをひとつひとつ説明していくにはとても誌面が足りません。ここでは、みなさんが心待ちにしていたと思われる、代表的なもののみを取り上げることになります。まずは、言語仕様に関する新機能を見ていきましょう。

◎旧VBライクなフォームアクセス

Visual Basic 6.0以前では、お手軽にフォームにアクセスすることができました。「Form1.Show()」という構文によるものです。これは、フォームと同じ名前のインスタンスが暗黙的に宣言

図1: Visual Basic 2005



されていることを利用したもので、ある意味 Visual Basic の伝統的なお作法と言えます。

しかし、Visual Basic .NET になって、これが使えなくなりました。このことにより、多くの旧 Visual Basic ユーザーが戸惑うことになったのは、みなさんご存知のとおりです。暗黙のインスタンス宣言が存在しなくなったため、フォームを利用するときは、常に明示的にインスタンスを生成しなくてはならないというわけです。プログラムコードにすると、以下のようになります。

VB.NET

```
Dim f As Form2

f = New Form2()
f.Show()
```

これは、オブジェクト指向言語を使う上では当然のことですが、新しい方

法に慣れていない開発者を困惑させるものでした。特に、複数のフォーム間での値のやり取りでハマっているケースをよく見かけます。

Visual Basic 6.0 以前では、「Form1.MyValue」とすれば、他のフォームからでも値を参照することができます。これは、Form1 という名前のインスタンスが、暗黙的に生成されているから

リスト1: 従来のフォーム間アクセス

VB6.0以前

```
**** Form1.frm ***
Me.MyValue = "Test"
Form2.Show()

**** Form2.frm ***
MsgBox Form1.MyValue
```

です。しかし、Visual Basic .NET では、Form1 の明示的なインスタンスを作成しておかなくてはなりません。言葉での説明はわかりづらいので、サンプルコードを見ながら説明していきましょう (リスト1)。

Visual Basic .NET では、暗黙のフォーム宣言がなくなるため、直接 Form1 という形で参照することができません。そこで、あらかじめ Form2 の Owner プロパティに Form1 を設定しておき、Form2 側では Form1 型の変数に Owner をキャストして、その後で MyValue プロパティにアクセスするという方法を取るようになります。

同じことを Visual Basic 2005 で実現するには、次のようなコードを使います。Visual Basic 6.0 とまったく同じ、とても直感的なものと言えるでしょう。もちろん、Visual Basic .NET スタイルの記述もできるので、そちらに慣れてしまった人は、そのまま構いません。どちらでも、好きな書き方を利用すればいいわけです。

VB2005

```
**** Form1.frm ***
Me.MyValue = "Test"
```

VB.NET

```
**** Form1.frm ***
Dim f As New Form2

Me.MyValue = "Test"
f.Owner = Me
f2.Show()

**** Form2.frm ***
Dim f1 As Form1

f1 = CType(Me.Owner, Form1)
MsgBox(f1.MyValue)
```